

街の老舗の魅力を体感。

街なかのおすすめ賃貸情報更新中!
www.kawaraban-web.com

～ 後の世代まで守りたい街の地域資源 ～

時代が変わっても変わらないもの。世代が変わっても根強く支持されるもの。そしてそれらを守り続ける老舗の商店主。もちろん世の中の変化に対応していくことは必要ですが、逆に“変わらない”ことの魅力もあるはず。まさにそれも地域資源の一つ。老舗という敷居が高そうに感じるかもしれないけれど、そんな心配はなし! きっと温かい笑顔で迎えてくれるはずです。さあ一歩踏み出して、店の、そして商店主の魅力を感じてみよう。

Long Time Favorite



幼児の靴の選び方や、子どもの靴を長く使うとっておきの方法など、子どもの靴の相談も受け付けています。

01 足にやさしい靴を知り尽くす靴職人がいる店

足の科学館 シューズ ツルヤ

記者
さみしがりやのー匠
田村史子

創業 71 年の老舗靴店。店の冠である「足の科学館」の由来は、2代目でこの道 52 年の店主、鶴洋さんのモットー「足は第2の心臓です」にあります。「店ではメンズ 22.5 cm～ 30.0 cm、レディース 21.0 cm～ 27.0 cmのサイズを取り扱い、それ以外のサイズの靴も必要とあればメーカーに直接オーダーすることもありますよ。鶴さんは、「靴の選び方を誤ると、健康を損なう」という考えのもと、お客さんの足に合った靴を提案し続けています。また外反母趾やリウマチによる足の変形など、トラブルを抱えた人の靴選びも得意とし、靴の知識は「お客さんの靴のサイズや足の状態は、聞かなくても見れば分かる」というほどです。そんな鶴さんにメーカーも絶対の信頼を置き、ツルヤだからその品ぞろえが実現しているそう。中でもアシックスに関しては、33年前に第1号特約店となって以来、なかなか手に入りにくいオリジナルブランド商品を扱っています。そのほか、1964年の東京オリンピック時に選手団が履いたアシックス製のオリジナルシューズも販売されています。

「とにかく靴が好きでたまらない」という鶴さんは、家業を継がなければグラフィックデザインの道に進みかかったという芸術肌な方。そのセンスは靴屋の仕事でも発揮され、販売にとどまらず自ら手掛けたデザインの靴をメーカーに作ってもらうなど、お客さんにより合った靴を提供するためにこだわり続けます。また、手先の器用さを生かして、靴だけでなくバッグやジャケット等の革製品のキズ・色あせ等の修理まで手掛けています。鶴さんの靴の修理は、元の状態に戻すだけではなく、靴底のすり減りから体のバランスを判断し、高さの調節もやってくれるのです。色あせの修理も、塗装用の絵の具までを用いて色を作り、100～200回も薄塗りを重ねることで、元の色合いを再現します。部分染め直し1,500円～、一足染め直し2,500～6,000円（ハーフ・ロングブーツは別料金）という良心的な価格にも驚きます。そんな鶴さんの職人技に信頼を寄せるファンは県内外にたくさんいます。驚くことに、それらの知識・技能はすべて独学で得たものなのだそうです。「好きだからこそその追求ですね」。本を読み漁ったり各メーカーを頻りに回ったりして、知識を深め続ける鶴さん。自ら修理し、靴の構造から理解しているからこそ、履き心地はもちろん体にやさしい靴を見出し、お客さんに紹介し続けています。「お客さんには靴のことをもっと勉強してほしいですね。特に、足の骨の多くが軟骨で成り立つ子どもの靴選びは慎重になってもらいたいです」。靴の本質を知り尽くす鶴さんに、ぴったりの靴を選んでもらいませんか?

[INFORMATION]
足の科学館 シューズ ツルヤ ☎0952-23-4556 ●佐賀市呉服元町 7-41 ●営業時間 / 9:30～19:00 ●定休日 / 元日のみ ●駐車場 / 元町セントラル・セイフパーク・松原セントラルPサービス券あり

かっぱカレッジでも講師に!
kappa college
昨年 3/6 (日) には、定期的にシアターシエマで開催されている「かっぱカレッジ」の講師も務めた鶴さん。テーマは「健康にいい靴選び」講座でした。前半は足と健康の密接な関係のお話、そして後半はプロの靴磨きの技を参加者にレクチャーされました。
かっぱカレッジ ●HP / http://kappacollege.com/



紳士用の特別オーダー革靴は鶴さんオススメの品質のもので3万5,000円～。履きやすさも抜群です。



革製品の修理道具の一部。色の修理に使う材料だけでも、こんなに揃えています。



これが、1964年の東京五輪で選手団が使用したシューズ。継続商品として販売されています。



店頭には訳アリのお得な商品も並んでいます。まずは一度、お店をのぞいてみてください!

街暮らしの新たな魅力を見つけるために

街なかで自分らしく暮らす人にお話を伺いました。

メッセージ 原田 真理子 さん

佐賀市街なかフリー活動家

Profile

生まれは福岡県糸島市。狸のいそやな山の中。その後佐賀に縁があり33年、少しずつスタイルを変えながら活動を続けてきました。現在のメインは「色からはじめる人生を豊かに輝かせるお手伝い人」です。



この街で生きると決めた。 私は現在、街のフリー活動家。

ただいまのメイン活動は「イメージコンサルタント」です。そしてその中心にあるのが「パーソナルカラーリスト」という仕事です。これは受講者の持って生まれた個性を最高に輝かせる色のエリアを選定し、お伝えして活用していただくというものです。装うことは、自己表現。その人のイメージを決めます。実は自分が好きな色と輝きを増す色は、90%ほどの割合で自身の認識とは違っています。まずはその違いを知っていただき、より良い印象を演出できる色や活用法を提案し、自信を持って装いを楽しんでいただきたいと思っています。現在はこんなフリー活動に携わっていますが、最初に佐賀にご縁があったのは33年前。その頃流行したエクササイズ「エアロビクス」のインストラクターとして、佐賀にお手伝いをしにきたことがきっかけでした。そしてそこから白山に小さな7坪の場所をお借りし、毎日通えるエアロビクスのスタジオ開設に至りました。今でも忘れませんが、場所探しをしていた頃のある言葉、「佐賀でそんなことをしても流行らんよ。やめとかんね」。あれは印象に残るインパクトのある言葉でした(笑)。それでもよそ者の私は、怖いもの知らず。若かったのもあるのでしょうけどね(笑)。そして怖いもの知らずの性格は年齢を重ねても変わらず、佐賀の街なかで、場所を変えながらチャレンジを繰り返しました。また33年間で、私は心から反省している大きな失敗もしました。それでもこの街が好きで、今ではここで生きていこうと決め、反省しなければならぬことも心にしっかり受け止めています。この街に立って、この街を歩き、年齢を重ねていく自分も愛しながら、ひとりの活動家としてお役に立ち続けたい…。そんな想いを胸に抱いています。まだこの先どんな人生が待っているのかわかりませんが、全ての経験をいかして、街の皆さんとともに、明るい笑顔であいさつを交わせる生き方をしたいと思っています。

この街は活気が失われてしまったと思われていることが多いのですが、そんなことはないと思います。コツコツとこの街の元氣のために活動をしている人たちもいます。例えば私の今の活動拠点は、「わいわい!!コンテナ2」です。この場所です。たかさんの方が他県から視察に来られる様子を見たり、街なかフリー活動家さんたちが様々な分野の活動をなさったり…。幼いお子さん連れのファミリーや、老齡の方たちも立ち寄られ、とても温かい交流の場となっています。この場所でお会いした方たちと心を繋ぎながら、元氣に活動する人たちがいれば、街の元氣はここから膨らんで佐賀の街なかにしかない素敵さが育つと思う私です。ひとりひとりの想いが膨らんで繋がり、パルーンのよう愛される街になるよう、私も想いを膨らませたいと思っています。ところで、1月の末から2月の末頃の期間で、「佐賀まちゼミ」が街なかで初開催されました。この街なかを活性化させるための企画の中で、私も講師として仲間入り。結果私の講座では、なんと121名の参加をいただきました。これはありがたい出会いであり、私たちのようなフリーの活動家にとってこのような機会はめったにないことです。感謝とともに、この先しっかりお役にたてる活動家に育ちたいと心から思いました。本当にありがとうございます。

INFORMATION

●ブログ / 佐賀市パーソナルカラー・色彩心理・表現アートセラピー「原田真理子の夢色ブログvol.2」
http://blog.livedoor.jp/withcolor/
●問い合わせ先 / 原田真理子 ☎090-3603-7574
MAIL a-hane.m@softbank.ne.jp



街なかかわらばん INFO ごあんない

ご意見・ご感想、お問い合わせはコチラへ

街なかかわらばん 編集室

〒840-0826 佐賀市白山二丁目7-1 エスプラッツ2F
[特定非営利活動法人まちづくり機構 コミュニテサが内]

TEL 0952-22-7340
FAX 0952-22-7346
MAIL kawaraban@humanite-saga.com

編集後記
今回の特集で意識したのは、実は知らない技術や店主の人的魅力がたくさん詰まっている店が、街なかにあることを知ってもらえたらということ。魅力があるからこそ、長年続くのです! (編集長 庄野雄輔)

●アートディレクション・デザイン / 松本健児 (PINEBOOKS) ●イラスト / 山本翔 (CIEMA) ●ライター / 田村史子、山本翔、谷口幸恵、江島由紀子、森菜摘、庄野雄輔



薬剤師 160 名
(028年4月1日現在)

あなたの、かかりつけ薬局。

地域とともにくすり屋 106年
ミズ・溝上薬局

http://www.miz-pharmacy.co.jp/